

NPO 法人 京都コミュニティ放送

## 第 148 回 番組審議会

開催日時：2022 年 2 月 22 日（火）10：30～11：30

会 場：ラジオカフェ事務所、Zoom 併用

出席委員：ジェフ・バーグラント、隅井美沙子、  
(オンライン)岡本卓也、岡田芳宏

欠席委員：福井秀彦、中村正

事務局：藤本香

(順不同敬称略)

ゲスト：「もっと身近に！～“京” do 参画～」 <https://radiocafe.jp/202010002/>

毎月第 2・4 月曜 18 時 00 分～放送（20 分番組）

制作者 京都府府民環境部男女共同参画課 課長補佐兼係長 西村一美  
主事 伊丹ありさ

### ■審議番組：「もっと身近に！～“京” do 参画～」2 月 14 日放送回

<https://radiocafe.jp/202010002/files/2022/02/mottokyodo220214.mp3>

制作者より、男女共同参画から社会の機運を高めるという課の目的、番組の趣旨説明があった。ゲスト出演者は、その趣旨に賛同いただける方であり、年代や性別を超えた 34 組がこれまでに出演したと報告した（2020 年 10 月 12 日放送開始）。

### ■2022 年 2 月 14 日の放送を聴いて審議に入った

- ・過去 3 放送回も聴いたが、最後 4 分ほど BGM であるがなぜか  
→台本制作をゲストにお任せしているため、こうして余ることがある(伊丹)。  
→毎回 3 分程度余るなら、前回ゲストの振り返りの時間をとっていいのでは。
- ・発声含め聴きやすい番組である。ただパーソナリティの学生が話すには硬い調子で、人間味が伝わらない。今回のゲストが五節句文化の活動をしているので「五節句とはなんですか？」とまず聞くのが自然なのではないか。パーソナリティには、リスナーリスナーの代わりになって質問したり反応したりしてほしい。
- ・とても良い番組だと思うので、しいていうなら学生の出番がもっとあっても良かった。

→今後もパーソナリティは学生が担当する予定なので、ぜひ参考にして今後をつくっていききたい。

・テレビは見ないで、ラジオを心の拠り所としている独居高齢者は多い。心のホットラインになる番組として、毎週放送しても良いのでは。

・正味 12～13 分であることを考えると、ゲストは各回 1 組でも良いのでは。そうすることでゲストの話をじっくり聴くことができ、先に出た「五節句とは」を伺う時間もつくれるように思う。

「こういう状況が今あるから、この活動をしているんだ」という、今の社会（やその時世のキーワード）と、ゲストの活動とのつながりを可視化する番組であると期待する。

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は 2022 年 3 月 3 日から事務所で閲覧できるように公開した。

この審議会の議事録は 2022 年 3 月 3 日から WEB サイトで公開した。